

令和4年3月31日

## 令和3年度 学校経営報告

東京都立府中工業高等学校長

古川 直浩

今年度の取組と自己評価

### (1) 教育活動の目標と方策

① 学習指導（自分で「考えさせる」授業の推進）
ALの授業展開を多く取り入れている教員については、できる限り授業をオープンとし若手を中心に参観を促してきた。また、一方ではオンライン授業に素早く対応するため、昨年度から実質的に動いているPTを中心に、デジタルサポーターの協力を得ながら環境の構築を行った。教員が自宅から学校の授業を行ったり、外部の方と連携した授業をしたりする等の実験を繰り返し、特に、3学期の段階では全教員が様々な形態でのオンライン授業を行うことができた。様々な、授業ニーズ（生徒からの質問、アンケート、課題など）にも対応できた。
② 進路指導（希望進路の達成）
就職に関する指導については、就職に強い本校の伝統的な指導により希望100%（全体の約7割）を継続した。会社見学や面接がオンラインになるなどの急な要求にも柔軟に対応した。特に就職採用活動が本格化する9月以降については、新型コロナ対策を3学年だけでなく全学年を対象に徹底し、この時期の感染者をほぼゼロにおさえ込んだ。 進学に向けた指導（AO中心）を行い、本校が当面の目標としていた4年生大学進学率10%を大きく超えた。高専編入を希望する生徒には夏季休業中の数学Ⅲ講座を実施した。今後、情報技術科の生徒の進学希望者が増加する傾向に合わせた校内体制を検討していく。 インターンシップ、進路講話及びサポーター企業との連携など一部においては、活動が制限されたものもあった。むさし府中商工会議所との連携は引き続き継続していく。
③ 生活指導（規律ある学校生活の向上「形から入りて心に至る」）
特別指導件数については、ここ数年非常に落ち着いている。自転車に関する地域住民柄の苦情が時折あり、自転車通学の指導を頻繁に行った。 今年は、文化祭が2年ぶりに限定的ではあるが公開できた。体育祭は学年単位で実施。全体的に学校行事は、昨年度と比較して実施はできたものの工業高校を広く知ってもらう活動とまでは至らなかった。
④ 特別活動・部活動（部活動加入者の増加と体力向上）
部活動については、今年度も中止が多く文科系の活動については、なかなか成果がだせなかった。野球部については、夏の大会でBest16となるなど飛躍した。この影響もあり文化スポーツ等特別推薦での人気も向上した。
⑤ 心身の健康づくり・相談体制（健康生活への意識の向上）
コロナ禍において、様々な事情が発生する状況を鑑みて、養護教諭及びスクールカウンセラーと継続的に連携し、組織的に対応した。新1年生について学校生活に不安を感じる状況を常に把握し、相談対応を素早く行った。 昨年中止となった講演会等は開催した。
⑥ 募集・広報活動の積極的な展開（HP等学校情報発信の強化と地域連携）
新型コロナ感染症蔓延防止のため一回に入場できる人数を宣言し、開催回数を大幅に増加した。また、中学校の土曜日授業を考慮し原則日曜日開催とした。学校情報を昨年度並みに発信し、第二中学校の2学年全員見学会を復活させた。学校案内を2年連続で大幅刷新を行い、電気工事士試験合格の成果を発信するためのパンフレットも作成した。夏休み期間からの見学会を含め、毎回アンケートをとりながら中3生及び保護者のニーズをとらえてきた。口コミも上々な滑り出しだったが、10月以降の説明会各回の来場者数は軒並み減少傾向を呈し総務部と管理職とで危機感を共有してきた。各学科の壁を超えた教職員の連携や協働体制も未だかつてない結束を見せており、

工業の学びの場として良い環境にある。次年度は、これらに加え、情報技術科に P-TECH 事業が展開される。これらの都の改革を最前面にしていく。

⑦ 学校経営について（連携と育成、体制の確立）

4科の連携が定着し始めてきた。学校宣伝や資格取得への取組についても共通認識が持てるようになった。例年総務部が抱えている中学校単位での模擬授業等は内容を含め4科会に依頼することで円滑化する。学校宣伝と実際のカリキュラム・授業内容の不一致感を減らしていく。

このような現体制は、工業科において貴重な取組であると自負する。徐々に科を超えた取組が増えるようにしていく。

⑧ ものづくり人材育成（資格取得推進と向上）

コロナ禍における様々な制約の中、生徒が自宅学習できる形態端末を用いた学習システムを構築した。一層計画的な講習等を実施し、第二種電気工事士の合格者数においては、東京都1位を継続している。また、1種においては、昨年を大きく上回る合格者を輩出した。加えて、1・2種同時合格者数も大きく伸ばした。自ら学習して国家資格に挑戦する生徒が増加してきていることで学校生活全般に意欲の向上が見られた。

## (2) 令和3年度の数値目標の実績

数値目標	令和2年度	令和3年度 目標	令和3年度 実績
① 就職内定率	100%	100%継続	100%
② 大学進学率	7.7%	同程度以上	13.4%
③ サポーター企業の活用	通信10号発行	10社以上	10社、通信10号発行
④ 資格取得者数			
ア 基礎製図検定	ア 27名	すべてにおいて +1名以上	ア 39名
イ 機械検査	イ 9名		イ 4名
ウ 第2種電気工事士	ウ 98名		ウ 95名
エ 第1種電気工事士	エ 17名		エ 21名
オ ITパスポート	オ 3名		オ 2名
カ 工事担任者 (DD3種)	カ 25名		カ 41名
⑤ 国家資格等 5つ以上 資格獲得者数 (卒業時)	30	80名	126名
⑥ 部活動加入率	78%	80%以上	81.1%
⑦ 遅刻者数	1125	1000未満	2068※
⑧ 特別指導件数	3件	5件以下	3件
⑨ ホームページ更新	週2.7回	週3回以上	週2.7回
⑩ 図書館貸出冊数	2161冊	昨年以上	1927冊
⑪ 学校説明会参加人数 (中学生・保護者合計)	700名	昨年以上	724名
⑫ 入学者選抜応募倍率			
ア 推薦入学	ア 2.04倍	ア 昨年以上	ア 1.73倍
イ 学力検査	イ 1.30倍	イ 昨年以上	イ 1.07倍
⑬ 退学者の減少 (対全生徒比)	0.8%	昨年水準以下	0.4%
⑭ 学校満足度 (肯定的回答)			
ア 生徒	ア 86.0%	ア 85%	ア 74.6%
イ 保護者	イ 93.6%	イ 95%	イ 74.0%
⑮ サービス事故・いじめゼロ	0	0	0
⑯ 月残業60時間超	6名	5名以下	5名

※新型コロナウイルス感染対策等による出席停止者を一部含まれており、今後人数が減少する可能性がある。